

～みんなで作る佐世保九十九島の藻場造成～



九十九島の海の香りを残せて...

JF九十九島

地元小学校



佐世保市
SASEBO CITY



プロジェクト概要



- 平成12年頃 佐世保市の磯焼けが顕著に
※佐世保が位置する長崎県は、全国2位の漁獲量（当時）を誇る、水産都市。磯焼けによる漁獲量の低下を懸念。

- 平成15年頃～ 九十九島漁協が中心となり藻場保全活動を実施



プロジェクトのポイント・効果



- ポイント👉：208個の島々からなる九十九島の穏やかな海でより被害のあるウニ駆除に特化して実施
- ポイント👉：市水産センターなどと連携し、海藻の提供などを受けながら、より効果的な事業を実施
- 効果👉：毎年の活動により藻場の面積が拡大※モニタリングデータによる
(例)令和3年度：藻場面積3.6ha → 2.77ha ↑
令和4年度：藻場面積6.37ha
- 効果👉：CO₂吸収源増加⇒地球温暖化抑制に寄与
藻場の増加⇒生物の多様性が高まり、漁獲量回復



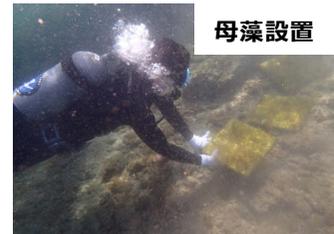
活動内容

- 食害生物（ウニ）の除去
- ウニフェンスの設置
- 母藻の設置（ホンダワラ類）
- アマモ種の播種
- 水産教室による地域理解の増進

藻場の形成



母藻設置



アマモ種播種



藻場の役割

水質浄化
CO₂吸収源の増加
食料生産の場
生物多様性保全

ウニフェンス設置



ウニ駆除

水産教室・アマモ種付け

